

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-1-1
企業の競争力強化

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 産業振興課長 松浦士登 電話番号 0852-22-6740

事務事業の名称	特殊鋼産業クラスター高度化推進事業	
目的	(1) 対象	安来市・松江市を中心に集積する特殊鋼関連産業
	(2) 意図	高度な技術力の習得や販路開拓による成長分野（航空機産業等）への参入
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 安来市の特殊鋼を中心とした鉄鋼業は、本県のものづくり産業において、とりわけ付加価値額ベースで大きなウェイトを占め、代表的な産業集積地を形成。 平成23年度、「島根特殊鋼関連産業振興協議会」を設置し、特殊鋼関連産業のクラスター強化を図るため、航空機・エネルギー産業を中心とした成長分野への参入や産業人材育成・確保に向けて参画企業や関係団体と連携した取り組みを実施。 成長分野への進出に必要な素材開発、製品開発、試作開発等を支援する「特殊鋼産業成長分野進出促進助成金」、航空機分野への参入に必要な助言を行うアドバイザーの設置や展示会への出展、県内高等教育機関と連携した特殊鋼に関する人材育成・確保対策など産学官が連携し、総合的な支援を実施。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	成長分野への参入を目指した新たな取り組みへの助成件数	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	件
	式・定義	特殊鋼産業成長分野進出促進助成金及び発展型試作開発助成金(特殊鋼関連のみ)の採択件数	実績値	6.0	2.0	4.0			
			達成率	-	40.0	80.0	-	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	37,361	50,600
うち一般財源(千円)	37,361	50,600

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○島根特殊鋼関連産業振興協議会「航空機ワーキング」での活動を契機とし、H27.4月に航空機産業を目指す中小企業グループ「SUSANOO」が発足。航空産業展への出展やマーケティング活動等に取り組んでいる。
 ○同協議会の取り組み開始以降、会員企業の売上高、雇用者数とも着実に増加している。
 【売上高(億円)】※協議会会員企業間の取引を含み、括弧内は内数としての「航空機・エネルギー分」
 H23.3: 1,462 (104) → H30.3: 1,539 (102)、【雇用者数(人)】 H23.3: 3,803 (214) → H30.3: 3,953 (382)
 ※うち中小企業分 105 (6) → 141 (13) ※うち中小企業分 722 (74) → 895 (81)
 ○航空機特有の国際認証(JISQ9100)取得社数 H23.4: 1社 → H30.4: 6社

6. 成果があったこと(改善されたこと)

○特殊鋼産業成長分野進出促進助成金(H24年度～)の活用により、H29年度末までに23件の研究開発事業を実施、うち9件が事業化。
 ○中小企業グループ「SUSANOO」では、先進企業視察や展示会出展支援等により、少しづつ受注実績を積み重ねている。
 また、H33を目標とし、一貫生産体制の構築を目指す中期計画を作成された。
 ○H29年度に(株)キグチテクニクスが島根大学との共同研究講座を設置され、金属加工や特殊鋼分野での共同での人材育成が開始された。
 ○松江高専では「特殊鋼」をテーマとする特別授業等が定着化。特殊鋼産業・企業の認知度向上や、企業側の雇用拡大が期待される。
 ○H28.12に設置した特殊鋼関連産業振興協議会人材ワーキンググループでは、中長期的な視点での人材育成・確保に向けた取組を開始。
 ○新たに1社が航空機特有の国際認証(JISQ9100)取得。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

航空機産業は、今後世界的な成長が見込まれる市場であり、一旦参入するとライフサイクルの長い産業の性格上、長期間に及び受注が見込まれる一方で、未経験の企業の参入は容易ではない現実がある。
 「SUSANOO」の取組みとしては、グループ内に特殊工程(熱処理、表面処理、非破壊検査等)に十分対応できる企業がなく、メーカー等からのニーズが高い一貫生産体制の構築に至っておらず、また、見積もり依頼があっても、仕上加工用の設備の不足や、価格、業務量の点で受注を逃すことが少なからず生じている。

②困っている状況が発生している「原因」

①一般的に薄利とされる特殊工程用の設備投資を行うのに十分な仕事量の確保見込みが立っていないこと。特殊工程の仕事量確保に寄与する大型部品用の仕上加工設備も1億円以上と高額であり、容易に投資できないこと。
 ②県内に主力工場を有する大手金属素材メーカーでは、県外工場と連動して航空機産業での事業拡大を図っているが、当該企業との戦略的な連携・協力関係の構築が一部不十分であること。
 ③受注に対応するための人材が不足していること。

③原因を解消するための「課題」

①仕上加工設備や特殊工程設備投資が可能な仕事量確保、不足技術の補完に向けた県内・県外企業との連携模索
 ②県内の大手金属素材メーカーとの関係の一層の強化や、県外工場との取引拡大に向けた戦略構築
 ③島根大学、松江高専及び県内専門高校との連携の強化

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

①平成30年度から活動を開始した「SUSANOO」グループ内の航空機部会での取組を支援し、特殊工程等の仕事量確保に向けた方策検討や、パートナーとなりうる県内・県外企業の発掘や連携体制を構築する。
 ②県内素材メーカーの戦略とのすり合わせを行い、県外工場との取引拡大や関連する技術開発への支援を行う。
 ③島根大学を中心とした専門人材育成や共同研究などの仕組みを新たに構築する。